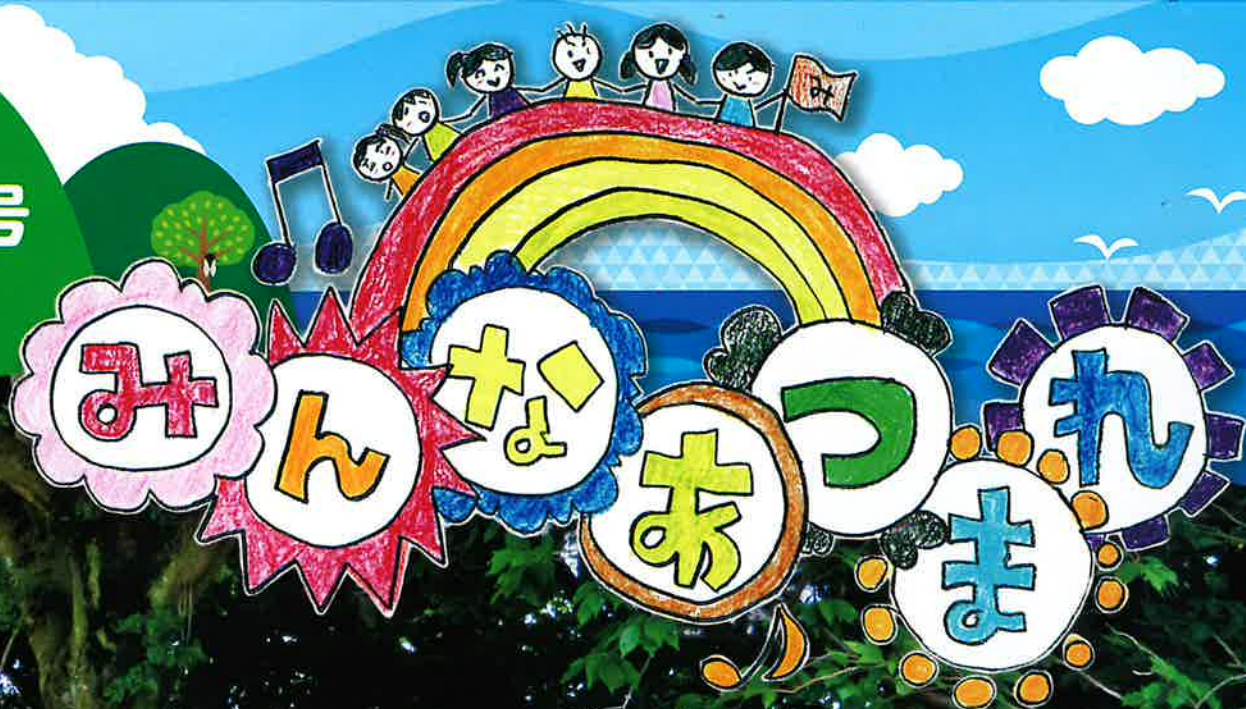


児童クラブだより
第102号

2021年7月21日



特集

大切にしたい外遊び!

子どもたちは、児童クラブの生活の中で、様々な体験と時間を共有しながら、少しずつ自分を表現していきます。夏休みを前に、ほっと安心できる居場所となり、仲間たちとの「遊び」を全力で楽しんでいるようです。先の見えないコロナ禍ですが、児童クラブでは「あそびを止めるな」を合言葉に、子どもたちと一緒に楽しむ気持ちを大切にしながら、今できることを探し、歩みを続けています。

今号の特集は「大切にしたい外遊び!」です。今だからこそ、外遊びの大切さを考え、児童クラブの仲間と、身体も心も育ち合えるために、外に出て一緒に遊びましょう!

表紙：なかよし児童クラブ

※掲載写真は、撮影のためにマスクを外していることがあります。



特集

大切にしたい外遊び!

「ただいまー」「おかえりー」「ねえ、今日も外で遊べる?」今日も元気とワクワクを胸いっぱい詰め込んで来てくれた子どもたち。

児童クラブの良さの1つは、約束をしなくてもいつでも「遊び」があり「仲間」がいること。外遊びができる環境は、児童クラブにより様々ですが、校庭や公園等に出て外遊びする時間を少しでも確保できるように工夫をしています。

遊びが広がる

しゃぼん玉とんだ

「見てー、大きなしゃぼん玉ができたよ!」。その瞬間、パツとはじけて消えてしまいました。「もう1回やる!」「もっと大きいものを作ってみる!」と挑戦。「1人より2人で合体させれば、大きいのができるかも!」と慎重に「せーの!」で吹くと、ミニサイズのしゃぼん玉が続々と飛び出し、思わず大笑い。さらに、誰が1番遠くまで飛ばせるかを競っていた子どもたちの近くで、飛んで来るしゃぼん玉を割る遊び?に全力を注ぐ子ども登場。

外遊びでは、自分のやりたいことを考えて、自然といろいろな選択をしながら行動することも、また、友だちの真似をしながら発展させることもあり、遊びは無限に広がっていきます。



なかよし児童クラブ

遊びがつながる

穴掘り・泥だんご



「どれだけ大きな穴が掘れるかな?」「地面の最後ってどうなっているのかな?」「行けるところまで行こう!」。穴を掘るぞ!という思いが一致し、夢中で掘り進めます。すると“穴を広げたい派”と“深く掘りたい派”で方向性の違いが発生。意見をぶつけ合った結果、「人がすっぽり入れる穴にする」という妥協案が成立。楽しい時間を続けるための工夫をして、遊びの中で協調性や社会性を知り、少しずつ成長していきます。そして、お互いの想像力や創造性が高まり、認め合う関係も深まります。

さらに、穴掘りでできた土の山を見つけ「これ使っていない?」と、すぐ横で泥だんご作りを始め、遊びが連鎖。外遊びの思いがけない展開やおもしろさも生まれます。



菜の花児童クラブ

外遊びの大きな魅力!

ドッジボール・鬼ごっこ

「ドッジボールやる?」「先に行って、コートを書いておいてね。」このような会話も日常風景。

コートでは、上級生の投げるボールの速さに、恐怖を感じながらも逃げ回ったり、当たると悔しくて泣いたり、外野で地面にお絵描き…。上級生は、低学年に手加減して投げる優しさや、対等な相手には全力で投げ、試合後には「あのボールすごかったね!」「スーパーキャッチだったぞ!」と認め合ったりします。自然に「また明日もやろうか!」という気持ちになっていきます。

ボール遊びのほかにも、鬼ごっこも大人気。鬼がなかなかタッチできずに困っていると、上級生がうまく交代したりして、学年をこえて毎日元気よく走り回っています。



みんなが笑顔になっていく 外遊びの秘密

子どもたちに「どうして外遊びが好きなの?」と聞くと「思いっきり走れるし、広くて気持ちいい」「風が吹いて気持ちがいい」そして「外遊びの時間って、あんまり指導員に怒られることがないよね」という意見もありました。指導員も、外遊びの時間では、子どもたちの楽しそうな様子に、気持ちも大きく見守っているのかもしれない。外遊びを終えて笑い合う輪を見ると、とびきりの笑顔をした指導員もいました。

児童クラブの外遊びは、子どもたちが「自分で考え判断する」「自分を表現・発揮する」といった生きる力が自然と育まれる大切な時間です。子どもたちが好きなように遊びを発展させ、自由にのびのびと関係を深め、それぞれの良さに気付き合えること、指導員の目の届かない秘密の時間も含めて、おもしろくて楽しい児童クラブになるように、これからもあたたかい大きな気持ちで見守ってまいります。



あさがお児童クラブ



みらぞう君が児童クラブにやってきた 12

～誕生会編～



ゲームで仲良くなる巻

～つばめ児童クラブ(新林小学校区)～

新年度最初の誕生会があるとのことで、みらぞう君も参加させていただきました。

つばめ児童クラブのみんなのことを、お互いにもっと分かり合えるように、それぞれの子どもたちの情報を集め、誰のことがか当ててるゲームをしました。子どもたちは2人組になり、指導員から受け取った紙を見て、書いてあるヒントをもとに当てはまる人を探しに行きました。(「4月生まれの人」「サッカーを習っている人」等)

スタートの合図がかかると、みんなが動き出しました。子どもたちは声をかけるタイミングを伺って、質問をしていました。まずは自己紹介をして、「〇〇ちゃんは4月生まれですか?」と質問して、答えが合っていれば名前を書いていました。



みんな、よろしくね～♪



何月生まれ?

いろいろなところから「やったー! わかった!」「〇〇くんって3兄弟?」「習い事している?」と、子どもたちの元気な声が聞こえてきました。誕生会で、みんなで仲良くなる巻作戦は、大成功でした。みらぞう君もみんなと一緒に質問をして回り、つばめ児童クラブの子どもたちと仲良くなることができました。

ぼくたち、わたしたちが創り上げようの巻

～わんぱく児童クラブ(大鍋小学校区)～

誕生会の計画を、上級生のリーダーの子どもたちがしているという噂を聞きつけて、みらぞう君は、わんぱく児童クラブへ遊びに行きました。

誕生会が始まると、司会の子どもたちが前に出て、「5月生まれの〇〇君です」と紹介しました。次に誕生日の歌を歌うということで、みらぞう君もワクワクしていると、なんとリーダーの子どもによるピアノの伴奏が始まりました! とても上手に誕生会を盛り上げていました。

おやつの後、リーダーが計画したマルコ・ポーロという遊びに、みらぞう君も参加しました。マルコ・ポーロという遊びは、鬼がバンダナで目隠しをします。ほかの人は限られた範囲で散らばって息をひそめます。鬼が「マルコ!」と声を出すと、周りの息をひそめている子どもたちは「ポーロ!」と返事をしなければなりません。その声を頼りに、鬼はみんなをタッチします。

リーダーが計画した誕生会を、みんなで思い切り楽しむ仲間たち。みらぞう君は、どんな想いで誕生会を企画しているのだろうか? 気になり、インタビューをすると「自分たちがしてもらったように、おもしろい誕生会を演出したかった!」「怪我なく安全に、みんなが楽しめるように計画した」と返ってきました。



わんぱく児童クラブのために頑張るリーダーの姿に、みらぞう君は「とっても頼もしいなあ」「リーダーの気持ちがしっかりと引き継がれているなあ」と思いながら、みんなと一緒に誕生会を楽しみました。





新施設の紹介!

藤が岡の丘の上に戻って来た チンチロ児童クラブ

(大道小学校区)



天井が高く開放感があります



とても日当たりの良いテラスです

今年、設立45周年を迎えるチンチロ児童クラブです。節目の年に、再び藤が岡の丘の上に戻って来ました。

チンチロ児童クラブは、保育園・子どもの家・子育て関連のスペース、市民の家等が集まった地域密着型複合施設の2階にあります。児童クラブ室は、天井が高く南向きの日当たりが良い部屋で、4月に完成したばかりの新しい建物です。子どもたちと一緒に、普段使う遊び道具や図書等を、どう配置したら使いやすいか、みんなで模索しています。

クラブ長は、「地域の方々との関わりを大切に、子どもたちが安心して楽しく過ごせる児童クラブでありたいと思います」と語っていました。

素敵な花苗を頂きました!

『藤沢市みどりいっぱい市民の会』より、児童クラブに花苗の寄贈がありました。ありがとうございました。



子どもたちと一緒に花苗を植える時、「この順番がきれいだよ」「いや、花の色を考えたらかこっちの方がいいよ」「日当たりを考えて、高さをそろえようか」と、意見を出し合いながら、楽しく作業しました。彩り美しいたくさんの花に囲まれ笑顔いっぱいです。自然や生命の尊さを感じるとても良い機会となっています。

児童クラブ集会

6月26日(土)藤沢市民会館にて、令和3年度児童クラブ集会が行われました。

毎年6月に児童クラブの保護者、地域の関係者、指導員が集い、「子どもが真ん中 育てあい」を恒久テーマに、これからの子育てや保護者への支援等について考えることを目的として開催しています。

今年度は講師に野澤 秀之氏をお迎えし、「コロナ禍での子どもの成長 いま大切にしたい気持ち」をテーマに講演をしていただきました。

講演後に行われていた意見交換の場は、新型コロナウイルス感染症防止のため、今年度は設けられませんでした。しかし、講演の内容は、保護者の方々にとって、コロナ禍で情報交換の機会が限られる中、子育てのヒントになったのではないのでしょうか。

また、会場での参加が難しい方のために、講演の様子を動画にて配信し、こちらも多くの方に視聴していただきました。



〒251-0054 藤沢市朝日町10-8 藤沢青少年会館内 放課後児童育成課

[TEL] 0466-21-6709 [FAX] 0466-28-0009 [URL] <https://www.f-mirai.jp> [E-mail] jjidouclub@f-mirai.jp

